

- ・英検3級取得推進（全中学校3年生に検定料を補助、英検準2級までの受検を対象）
- ・小学校におけるモジュール英語授業（15分間授業）の実施（本格実施は平成31年度から）
- ・小・中学校に整備したICT機器等を活用した授業の推進及び「最先端機器等の積極的な試用」
- ・E S D（持続可能な開発のための教育）の推進（戸田市学校版環境I S Oの実施、エコライフデーの実施等）

②国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成

- ・教員の英語指導力向上研修（青山学院大学との連携）
- ・「CAN-DOリスト」を活用した英語授業の実施
- ・「日本語指導員」による日本語指導が必要な児童生徒への支援の実施

平成29年度の 教育改革 2

よりよい教育環境を整備する

～産官学民及び家庭・地域と連携～

5 新しい学びの創造

①民間の教育力の活用

- ・夏季休業日を中心とした新しい学びを促す指導力向上研修の実施（ベネッセ、インテル、キャリアリンク等との連携）
- ・戸田市 PEER カリキュラム（プログラミング教育、経済教育、英語教育、リーディングスキル等）研究
 - ・プログラミング教育（インテル、ソニー・グローバル・エデュケーション、みんなのコード、ベネッセ、マイクロソフト、凸版印刷、富士電機ITソリューション、グーグル、ジャストシステム、富士ソフト、ヤマハ、Code for TODA等）
 - ・経済教育（CEEジャパン、青山学院大学との連携）

②学習支援器材の充実

- ・小・中学校に整備したICT機器等を活用した積極的な授業の推進
 - ・全教室・体育館に超高速無線LAN環境及び画面転送装置を整備
 - ・全校に児童生徒用タブレットPC（Windows）各40台及び全小・中学校の特別支援学級にiPadを導入

6 教員の資質向上・支援

①教員の指導力の向上

- ・【新規】管理職のためのカリキュラム・マネジメント研修会の実施及び学校間ピアレビューの推進
- ・【新規】「民間のCloud上のコミュニケーションツール」を活用した学習指導案等の共有化の推進
- ・【新規】「指導担当学校訪問の改善」及び研究委嘱校の校内研修の支援
- ・教育センター研究員による自主的な研修の支援
- ・【新規】産官学民と連携した「効果的な教員研修の在り方」の検討（Teach For JAPAN等と連携）
- ・最先端の教育課題に対応した講師を招聘した「戸田市教育フェスティバル」の実施
- ・【新規】平成29年度文科省委託事業「総合的な教師力向上のための調査研究事業」の実施【予定】

②教員が児童生徒と向き合える体制づくり

- ・【新規】「文書処理事務の負担軽減」を図る取組や「動画等を活用した移動を伴わない研修会」の試行実施
- ・校務の情報化を図るためのシステムの整備・充実（校務支援システムの充実、情報セキュリティの向上）

③保護者・地域からの信頼の醸成

- ・【新規】「社会に開かれた教育課程」を実現するための「全学校コミュニティ・スクール化」の検討
- ・Facebook、教育広報「とだ」、「ふれあい戸田」等の情報メディアを通じた市民への積極的な広報の推進
- ・「戸田市学校応援団実行委員会」の活動支援及びコーディネーター研修会の実施
- ・特色ある教育活動等の積極的な公開を推進する「学校公開」の実施（彩の国教育の日）

7 特別支援教育の充実

①特別支援教育の充実

- ・【新規】特別支援学級・通級指導教室の充実
 - ・喜沢小学校に特別支援学級（自閉症・情緒）1学級、美笹中学校に特別支援学級（知的）1学級を新設
 - ・新曽小学校に通級指導教室（難聴・言語）1学級を増設
- ・【新規】プログラミング教育やAR（拡張現実；アグメンティッド・リアリティ）動画を活用した魅力ある授業の実施
- ・全小・中学校の特別支援学級に導入したiPad等のICTの積極的な活用
- ・国立特別支援教育総合研究所との連携及び特別支援教育に関する研修（障害者差別解消法に関する研修を含む）の充実（授業のユニバーサルデザイン化研修、特別支援教育コーディネーター研修、特別支援教育新担当者育成研修等）
- ・通常学級支援籍等の交流及び共同学習の推進（インクルーシブ教育の推進）

②相談・支援体制の強化

- ・発達障害に係る小児専門医による教育相談
- ・就学に係る説明会・個別相談会の実施
- ・乳幼児検診からの早期発見・支援、保健指導の実施（福祉部と連携したサポート手帳の活用）

※紙面の都合上、各施策の「再掲」は省略しています。